

五
條

一人ひとりの人権意識は身近なところから！

急速な科学技術の発展により、私たちの生活に一層快適さと豊かさがもたらされました。しかしその一方で経済優先がもたらす様々な問題も起っています。例えば地球温暖化による環境破壊や環境汚染、そして尊い人の生命や人権を脅かすような事件が発生し、どこかゆがんだ社会ができあがりつつあります。

更に私たちの身の回りには、まだまだ多くの差別事象も残っています。部落差別をはじめ、高齢者や子どもに対する虐待やいじめ、そして女性に対してのDV（夫婦間や恋人など親密な関係にある人から暴力を受けること）、インターネット上に差別書き込みをするなど、とても人権が守られた住みよいまちとはいえない現実があります。

私たちはこれまで『人権』はこの世に生まれてきた人、すべてに平等に認められたものであり生きていく上でなくてはならないものだとして深く心に刻み学習を積み重ねてきました。

しかし毎日メディアで報道されていることは人の生命を簡単に奪ったり、幼い子どもを虐待したり、とても人権が守られているとはいえない現実があります。

どうすればすべての人たちが「安心して生きること」や「自信を持って生きること」ができるのでしょうか。そして「真に人権が守られた社会を築くこと」ができるのでしょうか。

私たちは人権をむずかしく考えるのではなく本当に身近にあるお互いの思いやりを尊重し合い、自分も周りの人たちも大切にするという温かい気持ちをさりげなく行動に移すことが「人権が尊重されたまちづくり」として築くことができるはずだと思います。だれもが生まれてきてよかったといえる心豊かな社会の実現をみんなでもっと取り組んでいきたいと考えます。

7 NO.688
平成18年7月
JULY 2006

差別をなくす強調月間 特集号

差別をなくす強調月間

7月1日～31日

「育てよう一人ひとりの人権意識」
思いやりの心・かけがえのない命を大切に

第35回 差別をなくす市民集会

日時 7月8日(土)
(受付)午後1時
(開会)午後1時30分

場所 市民会館

テーマ 「私の前を通り過ぎたスポーツ選手の光と影」

講師

フリーアナウンサー
うえくさ さだお

植草 貞夫さん



ゴーちゃん
(五條市シンボルキャラクター)

皆様のご参加お待ちしております